

私たちが携わるモールビジネスは、長い年月にわたって地域の皆さまから確かなご支持をいただかなければ成り立ちません。今回の特集では、これからの時代に求められるショッピングモールのあり方を考えるとともに、2013年12月にオープンを控えた旗艦モールなどにおける私たちの新しい取り組みをご紹介します。



★モノで心を満たす時代から、コトで心を豊かにする時代へ

「モノ離れ」が進む時代

ごく最近まで、私たちの社会では「消費すること」や「モノを所有すること」は豊かさの象徴とされてきました。しかし社会の成熟が進み、物質的な欲求がある程度まで満たされるにつれて、モノを持つことに対する関心、モノを買うことで得られる満足感が低下してきたと言われます。身の回りの整理や片付けを指南する書籍がベストセラーになることから、本当に必要なモノだけを所有し、シンプルで心地よい暮らしを望む現代の生活者像が浮かび上がってきます。

また、生活者の嗜好や価値



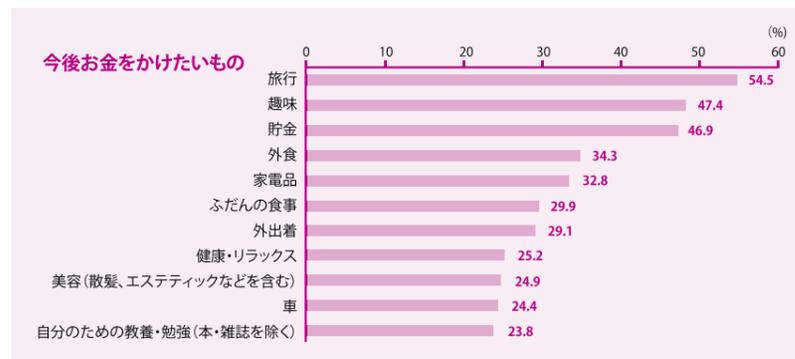
値観はかつてないほど多様化しています。パソコン、スマートフォン、タブレットなどを通して、私たちはいつでも専門的かつ細分化された情報に接することができるようになりました。特定の分野に深いこだわりをもつ方が増える一方で、かつての自動車や家電のような、大多数の生活者が共通して手に入れたいと考える消費財が市場に少なくなっています。

さらに、生活者の環境意識の高まりも消費傾向に影響を与えています。従来の大量消費/大量廃棄、使い捨て型消費などに対する反省が、モノを購入することに対する慎重な姿勢につながっているとみられます。

心を満たす「かたちのないもの」

現代の生活者の関心は、モノを所有することに代わって、それを使ってどんなことができるのか、自分のライフスタイルがどう変わるのかに移りつつあります。体験、知識、思い出、あるいは家族や友人との関わりなど、かたちのない「コト」によって精神面を充足させたいという欲求が強くなっているのです。

2011年に経済産業省が全国の20～69歳の男女3,000人を対象に実施した「消費者購買動向調査」によると、「今後お金をかけたいもの」という質問への回答では、「旅行」(54.5%)を筆頭に、「趣味」(47.4%)、「貯金」(46.9%)、「外食」(34.3%)が上位を占めたほか、「健康・リ



ラックス」「美容(散髪・エステティックなど含む)」「自分のための教養・勉強」にお金をかけたいと回答した人はいずれも25%前後に達しており、これからもモノ消費からコト消費へのシフトは続いていくものと予想されます。

★ これからのショッピングモールに求められる役割とは

ニーズの変化を的確に捉える

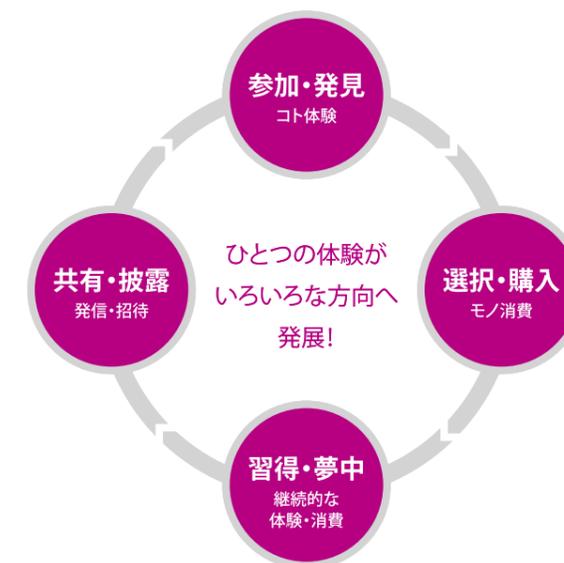
これまでのショッピングモールは、流行感度の高い専門店から食料品・日用品までをワンストップで買い揃えられることで高いご支持をいただけてきました。しかし、お客さまの価値観や消費傾向が変われば、求められるショッピングモールのあり方も変わります。10年、20年先までの長期的な視点が求められるモールビジネスでは、お客さまのニーズの変化を的確に捉え、先を見据えて対応することが必要です。

モノを買うだけならネットショッピングでもこと足りる時代にあつて、私たちはイオンモールに足を運ばなければ得られない楽しみや体験を一人ひとりのお客さまにご提供したいと考えています。これまでのお客さまの中心層だった若いファミリーはもちろんのこと、独身の若い世代からシニア層まで、それぞれの嗜好やライフスタイルに合った「コト」や「体験」に出会えるショッピングモールを創造してまいります。

くらしの可能性を広げる商業施設へ

たとえばある日、イオンモールで手にしたことのない楽器にふれて、生の音色に魅了される。売場に併設されたレッスンスタジオに通い、プロの講師から手ほどきを受けてみる。共通の趣味を持つ新しい仲間に出会い、家族や友人を招いてモール内のホールでライブ演奏をする。さらなるこだわりが生まれ、それを満たす新しい楽器を手に入れる。さらには仲間たちと海外のライブを鑑賞するツアーに参加する…。

このように、単にショッピングを楽しむだけでなく、イオンモールへのご来店が新しい生きがいの発見や仲間との出会いのきっかけになり、ひとつの体験がいろいろな方向へ豊かに発展する可能性を秘めている。そんな新しい価値を提供するショッピングモールを、いま私たちはかたちにしようとしています。



皆さんに聞いてみました。「いま、何を楽しんで いますか?」「これからしてみたいことは?」

ひとくちに世の中や社会といっても、それを構成しているのは一人ひとりの生活者です。皆さんは毎日の生活の中でどんなことを考え、何を楽しんでいるのでしょうか。街に出て、さまざまな年代の方からお話を聞いてみました。



多忙な毎日だからこそ、精神的な充足がほしいです。

菊原 朝香さん (30代・東京都杉並区)
温泉が大好きです。短くても3泊はできるくらいの休暇を取って、家族や気のおけない友人と時間を贅沢に使うのを楽しみにしています。ひとくちに温泉といっても種類はいろいろなんです。好きが高じて「温泉ソムリエマスター」という資格まで取得し、温泉分析書も読めるようになりました。今ほしいものは思い浮かばないですね…仕事が忙しいので、休日をどう充実させるかのほうが大切です。ショッピングに出かけた先にスパがあって、疲れたときに立ち寄れたらいいですね。



得意の英語を活かして新しい毎日を楽しみたい。

野嶋 和生さん (50代・神奈川県川崎市)
外資系企業を退職した後、小学生に英語を教える資格を取得しました。いろいろな国の人と友だちになる楽しさを子どもたちに伝えたいと思っていて、将来は妻と海外にロングステイする生活も考えています。でも、英語は使わないと忘れてしまいますね。毎日1時間くらいはリスニングや会話をするように心がけています。スクールではなく、もっと自由に集まって気軽に話ができる英会話サロンのようなものが近くにあるといいですね。妻が買い物している間に立ち寄れたら便利だと思います。

母の介護をする毎日の中に新しい楽しみを見つけました。

結城 桂子さん (50代・千葉県習志野市)



3年前に仕事を辞めて母の介護をしています。家でできることとしてビーズアクセサリーの制作を始めました。手を動かしてきれいなものを作り、いつ身につけようかと考えるだけで気持ちが明るくなります。また、短時間ですがスポーツジムに通って気分転換するようにしています。地域にはシニア世代の方が多く、みなさんいろいろなことに興味を持っていますが、なかなか始める場がないと言っていますね。近くに中高年層を意識したショッピングモールができれば喜ばれると思います。

72歳まで現役で仕事。次の目標は個展を開くこと。

服部 友重さん (70代・神奈川県鎌倉市)



長く続けた仕事をリタイアしたばかりで、1日の過ごし方もまだ決まっていない感じです。とりあえず昔やっていた油絵をもういちど描いてみようと思います。真っ白なキャンパスに自由に世界を作り出せるのが楽しいね。「自分の色」を出せるようになって、80歳までに小さな個展でもできたら嬉しいです。同世代には、定年退職してから何をしたいかわからないという人も多いみたい。特に男性は新しい友だちを作るのが不得手な人が多いから、同じ趣味の人が集まる場があるといいですね。

体を動かすのは大事。フラメンコはずっと続けたい。

広瀬 美砂さん (50代・千葉県船橋市)



有名な先生の教室が近くにあったのをきっかけに、フラメンコを20年ほど続けています。激しい踊りをイメージする方が多いのですが、大事なのは余計なところに力を入れずにいい音色を出せること。しっかり踊れる体づくりが必要です。銀行のロビーで仕事をしていますが、姿勢やお辞儀の仕方にもいい影響が出ていると思います。若いころの経験や思い出は財産になります。ダンスにしてもいろいろな種類を1ヶ所で体験できる場所があれば、お子さんが始めるいいきっかけになるでしょうね。



もっとうまくになりたい。ボウリングに打ち込んでいます。

白里 健一さん (40代・千葉県千葉市)

運動不足で体力が落ちてきたのを実感し、本格的にボウリングを始めました。スコアで目標を立てやすいと思っていて、近くのお店の会員になり、マイボールも作って月に5、6回、多ければ1回に6ゲームくらいは立て続けに投げています。もっとうまくなって、目指せるスコアになればプロという気持ちもあります。もう一つの趣味はインラインスケート。これはできる場所が少ないんです。広い商業施設の一角なんかでイベントをやってくれるといいんですけどね。

家族や犬とみんなで安心して暮らしたい。

宮川 かえでさん (40代・神奈川県横浜市)



7年前に近くのペットショップで出会ったミニチュアダックスがいます。車に乗せて公園へ行ったりして、もう家族同然の存在ですね。こないだ床で滑って腰を痛めてしまったので、カーペットの面積を増やしました。生体を扱うお店だけでなく、犬と暮らす生活についていろいろ相談できる場所があったら安心してですね。つい甘やかしてしまうところがあるので、気軽に参加できるしつけ教室などもあればと思います。

ボルダリングが大好き。もっと高いのに挑戦してみたい。

木村 萌生さん (小学6年生・神奈川県座間市)



家族でよく行く公園で「ボルダリング」をするのが好きです。岩や石に手足をかけてかべをよじ登ります。もともと高いところが大好きで、校庭の登り棒やうんていも得意。はじめてボルダリングをやってみたのは2年生くらいだったけど、すぐってんまで登れるようになった。まだまだ行けそうなのにあまり高さがなくて残念。もっと高いのがあったら挑戦してみたいな。きっとできそうな気がします。



30歳になったのを機にフルマラソンに挑戦しました。

鶴崎 真琴さん (30代・東京都世田谷区)

人生の節目で何かにチャレンジしようと考え、思いついたのがマラソンでした。走るのは思ったより気持ちいいです。目覚めが良くなり、性格まで前向きになるような気がします。初マラソンは苦しかったけれど完走して、格別の達成感を味わいました。ランニングの初心者ですがまず悩むのがシューズ選び。もっとしっかり走るために、次は足の形を診断してぴったり合うシューズを勧めってくれるお店に行きます。自己流のフォームもいちど誰かに教わりたいですね。

今いちばん欲しいものはダンスシューズです。家の近くに専門店がないのでネットで買うしかないんですが、届くまでサイズが合うかわからなくて不安です。もっといろんなものを見て、実際に試して選べたらいいと思います。学校では、仲良しの友だちと「いつかバンドやろうよ」と話しています。誰も楽器を持っていないのに、担当はもう決まっています。でも楽器って高いですね…近くに習えるところもなく。高校生活もあと1年、実現したらいいですね。



欲しいものがもっと近くで選べたら嬉しいです。

加庭 由唯さん (高校3年生・千葉県鎌ケ谷市)

お気に入りの自転車に乗ってリフレッシュしています。

橋 梢さん (20代・東京都西東京市)



過度なダイエットで体調を崩した経験から、今は野菜を毎日たっぷり食べています。少し前に、ひと目ぼれして海外ブランドの赤いクロスバイクを買いました。ペダルを漕いでいると匂いや風を感じて、五感が研ぎ澄まされていく気がします。愛車はタイヤをロードバイク用のものに交換して、使わない日は部屋で大事に保管しています。気軽に立ち寄れる自転車カフェのようなお店がもっと増えたらいいですね。いつかハワイのセンチュリーライドに出るのが夢です。日本にもあんな楽しいイベントがあればと思います。

おしゃれをして街に出てみんなと話すのが楽しみ。

川路 可久子さん (70代・埼玉県春日部市)



先生についてシャンソンを習っています。年に一度は大きな公民館で発表会があり、好きなドレスを着て舞台上に立つという非日常の経験を楽しんでいます。今はひとり暮らしなので、レッスンのあとにみんなでお茶を飲みながらおしゃべりする時間が楽しみです。おしゃれも大好き。同世代の友人を見ていると、昔の70代とは感覚がぜんぜん違いますね。いかにもシニア向けという服は地味すぎて…明るめの色でサイズがゆったりした服を売っているお店が増えてほしいです。

始めたいことはいろいろ。何かきっかけがあるといいね。

林 秀夫さん (60代・東京都豊島区)

こないだ、高校時代にやっていたギターに再挑戦してみたんですよ。通信教育を申し込んでね。でも、まったく指が動かなくて諦めました。ちゃんと先生についてやり直せばよかったんだろうけど、近所の音楽教室は若い人向けに入りにくくて。社交ダンスなんかもできたらいいと思うけど、きっかけがないとなかなかね。数年前に半ば強引にゴルフを勧められた友人には感謝しています。年配の初心者でも気軽に新しいことが始められる場所があったら行ってみたいですね。



新世代モールの起点 ～イオンモール幕張新都心 / イオンモール岡山～

時代の変化を捉えた当社のまちづくりは、すでに具体的なかたちになりつつあります。ここでは、新立地条件や地域特性は異なりますが、いずれもこれまでの商業施設の枠を超えた新しい価値をお客さまに提供してまいります。

首都圏広域対応型のフラッグシップモール

★イオンモール幕張新都心 (千葉県千葉市 2013年12月オープン)

CONCEPT

“夢中”が生まれる場所。

人生がもっと充実する「夢中」になれる“コト”に出会い、新たな欲しい“モノ”を発見する。自分のこだわりを満たすことで、さらに「夢中」が広がっていく。

10の“夢中構想”

イオンモール幕張新都心は、プロジェクトの構想として、大きく10の要素から構成される「夢中構想」を掲げ、さまざまな「夢中」が生まれ続けるモールとなることをめざします。

- プレミアムライフスタイルゾーン
- 体験型ホビーゾーン
- 親子でエディテインメントゾーン
- スポーツゾーン
- ライブフード・レストランゾーン
- 次世代エンターテインメントゾーン
- クールジャパン集結ゾーン
- サイクルゾーン
- スパ&ビューティーゾーン
- ペットパークゾーン



ZONING PLAN

広大な敷地を活かし、棟ごとにテーマを与えて機能を集積



- A棟**
大人のためのライフスタイルモール
- B棟**
ペットのためのライフスタイルモール
- C棟**
スパ&ビューティーゾーン
- D・E棟**
キッズ・ファミリー&スポーツのためのライフスタイルモール

◆訪れるたびに出来る、新しい体験。ここからライフスタイルが豊かに広がります。

ここでしかできない体験が目白押し



親子や3世代で楽しめて、食生活提案型カフェも併設する職業体験型テーマパーク「Kandu® (カンドゥー)」が日本初上陸。お笑いライブなどさまざまなイベントを行う「(仮称)よしもと幕張新都心劇場」もオープンします。

地域と連携したコト体験が充実



どなたでも気軽に参加できる自転車のレースイベントなど、地域との密接な連携で従来の商業施設の枠を超えた大型イベントを実施。このほかにも地域と協力したさまざまな取り組みを企画しています。

中国・四国最大級の大規模都市型拠点

★イオンモール岡山 (岡山県岡山市 2014年11月オープン)

CONCEPT

おかやま未来スタイル創造特区

岡山のきらめく未来を予感させる「都市体験」と、岡山の歴史を受け継ぎ、新たに紡いでいく「新岡山スタイル」。夢・憧れ・挑戦・感動・くつろぎ…ここは、今までの岡山になかった多彩なスタイルやチャンスに出逢える場所です。

都市体験
時差のない都市岡山

新岡山スタイル
歴史をつなぐ都市岡山



ZONING PLAN

地下2階、地上7階のフロアを2つの異なる世界観で構成



◆5階は第2のグランドフロアとなる“都市ナカパーク”。ここから多彩な情報を発信します。

ルーフトップガーデン



緑に囲まれた屋上広場。5階には約600席の「未来ホール」やシネマコンプレックスなどが揃っています。

OHK岡山放送施設



約1,800m²のフロアに同社のオフィスのほか本格的テレビスタジオも併設。強力な情報発信拠点になります。

